

第13次倉敷市廃棄物減量等推進審議会委員委嘱式  
平成30年第1回倉敷市廃棄物減量等推進審議会会議録

日 時：平成30年2月6日（火）13時30分～14時52分

場 所：倉敷市役所 特別委員会室

出席者：委員16人

池田委員、石井委員、伊藤委員、井上委員、大屋委員、川東委員、佐藤委員、  
高木委員、武則委員、田邊委員、中山委員、樋口委員、藤井委員、藤井委員、  
藤原委員、松成委員

事務局10人

傍聴人0人

欠席者：百本委員

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

河田副市長

本市では、平成23年に発生しました東日本大震災を教訓に、「倉敷市災害廃棄物処理計画」を策定しました。今後は、「暮らしキック20」の実現に向け、委員それぞれのお立場から5種14分別の徹底やごみの減量目標達成にむけての施策について、審議していただきたいと考えておりますので、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

4 委員自己紹介

5 事務局紹介

6 会長、副会長の選出

委員から事務局案を求められ、会長を藤原委員、副会長を井上委員と樋口委員にお願いしたいと提案したところ、全会一致で承認された。

7 倉敷市廃棄物減量等推進審議会について

事務局から、資料に沿って、審議会の位置付け及び市と審議会の役割について説明した。

8 倉敷市の一般廃棄物処理について

事務局から、資料に沿って、(1)平成28年度のごみ処理実績、(2)くらしキック20と5Rの取り組み、(3)目標達成に向けた施策(59施策)について説明した。

(委員) 59施策のうち、1-7の家庭ごみ有料化導入の可能性の検討について、倉敷市はどのようなスタンスで取り組んでいるのでしょうか。

(事務局) 家庭ごみ有料化導入の可能性の検討について、まず、他市の状況ですが、県内でごみの有料化をしていないのは倉敷市、玉野市と高梁市です。全国では、約1700の市町村のうち630程度が有料化をしていて、約3.5%になります。中核市では、7割以上8割近くの中核市が有料化を実施しています。倉敷市としては、平成32年度に国の目標値である1人1日当たり500gの達成が困難な場合には、ごみの有料化の必要性を十分に市民に説明しながら、さらなるごみ減量の協力を求めています。現在は、その目標達成のために、様々な施策に取り組んでいるところです。

(会長) 平成32年度に500gを達成するためには、どこかで有料化を決断しないといけないことになります。そのための準備の時間が必要になるということと、忘れてはいけないのが必ず駆け込みごみが出てくるということです。決断してすぐに実施できることではないので、事務局でしっかりと判断していただきたいと思います。

(委員) 59施策のうち、2-3の外国人への分別徹底の推進ですが、最近、外国人が増えてきている中で、日本語学校などの出前講座で啓発用パンフレットを配布するなどの内容が書かれているが、その他にもごみ分別の啓発を行っている取り組みはありますか。

(事務局) 外国人への分別徹底の啓発の方法ですが、資料にも書いてあるとおり、英語、ポルトガル語、中国語での分別のチラシを作成していましたが、昨年当たりから倉敷市にベトナム人が流入していて、800人を超えて1000人近い人が住んでいます。コーポ等の家主からの要望もあり、来年度はベトナム語での啓発チラシ等の作成を予定しています。

(委員) それと併せて、ごみステーションの看板への多言語化は検討していますか。

(事務局) ごみステーションへの多言語化の表示ですが、ごみステーションは大きいものから小さいものまで色々あります。できるだけ、ごみステーションに合うようコンパクト化を検討していますので、多言語化をしていくことはスペース的に難しい状況です。そのため、パンフレットの配布等で対応していきたいということで検討しています。

(会長) 事業系ごみが、なかなか目標値まで減ってきていません。その対応として清掃工場では不適正な排出業者への指導を行っているということですが、その実施状況はどのようになっていますか。指導内容は、事業者には伝わっているのでしょうか。今、1番の問題としては何がありますか。

(事務局) 排出事業者には、店長などをお願いしているが、従業員は手間がかかるためなかなか分別してもらえていません。新しい大規模店舗には開店前に行って分別をお願いしています。新規の店舗については、後日訪問しても分別がしっかりされていて、指導する必要がない状況です。しかし、昔ながらの店舗では、従来から行っているごみの分別方法を変えることになかなか対応してもらえませんが、繰り返しお願いをしていこうと思っています。

(会長) ごみの適正処理指導をしていますが、不適正なものを持ち込む率に変化はあったのでしょうか。

(事務局) 数年前から指導を強化していますが、缶やびんが混じていたものは減ってきています。しかしながら、雑紙については分別の不徹底があります。実績は、指導実績はありますが、平成27年度は収集運搬業者を3者行政指導しました。平成28年度は1者行政処分、2者行政指導しました。平成29年度は2者行政指導をしています。平成28年度は2者の事業者に行行政指導を行いました。

## 9 し尿くみ取り手数料の改定について

事務局から、資料に沿って、し尿くみ取り手数料の改定について説明した。

(会長) (質問が出なかったため) 御承認いただいたということでよろしいでしょうか。ありがとうございました。

(会長) 他に質疑がないようでしたら、今後の倉敷市廃棄物減量等推進審議会の予定について、事務局からお願いします。

(事務局) 次回の倉敷市廃棄物減量等推進審議会は、9月以降に第2回目を行う予定です。

10 閉会

以上のとおり、議事が行われたことに相違ありません。

平成30年3月1日

会長

藤原健史



委員

石井つる子



委員

池田三重子

